

# 琉球大学学術リポジトリ

## 沖縄諸島奥武島 (南城市) におけるハムシ類

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2020-12-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 重藤, 裕彬, Shigetoh, Hiroaki メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/47430">http://hdl.handle.net/20.500.12000/47430</a>



## 沖縄諸島奥武島（南城市）におけるハムシ類

重藤裕彬

〒900-0001 沖縄県那覇市港町 2-11-1 那覇植物防疫事務所 (email: [mofosr.45.9@gmail.com](mailto:mofosr.45.9@gmail.com))

**要旨**．沖縄諸島に属する奥武島（南城市）におけるハムシ類は、これまで1種のみしか記録されておらず、調査の余地が残されていた．今回、奥武島において野外調査を行った結果、4亜科21種のハムシ類が得られた．このうち20種が同島初記録である．

### はじめに

沖縄県南城市の奥武島（図1）は、沖縄島南東部から約100 mに位置する面積0.23 m<sup>2</sup>、最高標高16 mの極めて平坦な小島である．沖縄県内には“奥武島”という名の島は4島存在するが、今回調査した島はこれらの中で唯一の有人島である．島の面積の大半が住宅地や運動場、漁港となっており、その中に点々と畑や草地在存在する．また、島を斜めに縦断するように帯状に二次林が残されている．

これまで、奥武島におけるハムシ類を記録した報告はほとんどなく、ヨツモンカメノコハム

シ *Lacoptera nepalensis* Boheman が記録されているのみである（重藤ら 2020）．奥武島は主要島である沖縄島との距離が極めて近く、そのハムシ相は沖縄島との共通性が高いことが予想されるものの、調査が不十分であった．

今回、奥武島においてハムシ類を対象とした野外調査を行った結果、4亜科21種のハムシ類が得られたので、ここに報告する．

### 材料と方法

奥武島での野外調査は2019年1月および3月、5月、9月、11月の5回行った．採集方法はスウィーピング法およびビーティングを用いた．なお、これらの調査で得られた標本は全て筆者が採集し、筆者及び琉球大学風樹館（RUMF）が保管している．また、本報告では採集地の「沖縄県南城市」は全てに共通するので省略する．

学名および和名は主に木元・滝沢（1994）および Löbl and Smetana（2010）に従ったが、以下の3

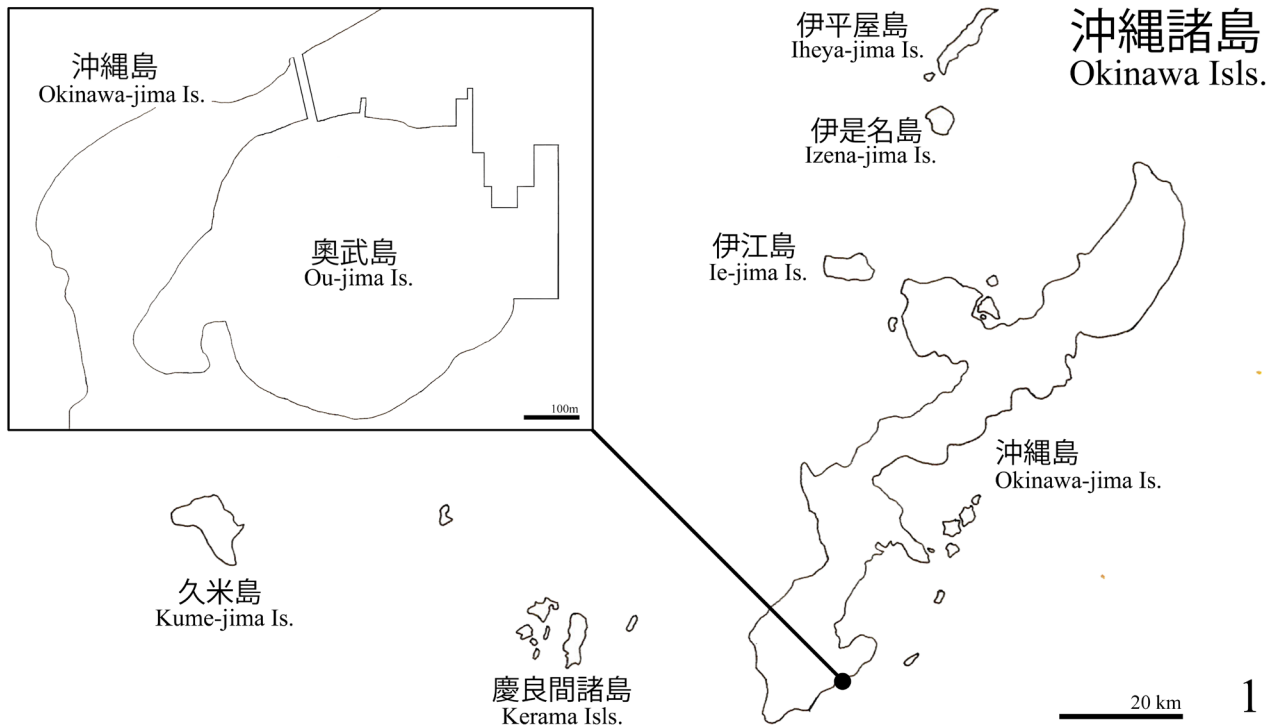


図1. 奥武島（南城市）の位置概念図．

Fig. 1. Location of Ou-jima Island in Nanjo City, Okinawa Islands, central Ryukyus, southwestern Japan.

種の学名についてはそれぞれの文献に従った：  
オキナワアシナガトビハムシ：Medvedev (2006);  
ナスナガスネトビハムシ：Nadein and Lee (2012);  
ハマゴウハムシ：Suenaga et al. (2018).

## 採集記録

ハムシ科 *Chrysomelidae* Latreille, 1802

サルハムシ亜科 *Eumolpinae* Hope, 1840

### 1. ツツサルハムシ

*Abirus fortunei* (Baly, 1861)

(図 2)

検視標本 . 6 exs., 玉城奥武, 6. V. 2019, 筆者保管;  
3 exs., 同前, RUMF-ZI-47185–47187.

国内の分布 . 沖永良部島, 与論島, 沖縄島,  
宮城島, 浜比嘉島, 藪地島, 津堅島, 瀬長島, 奥  
武島 (南城市), 粟国島, 渡名喜島, 久米島, 奥  
武島 (久米島町), 宮古島, 石垣島, 西表島 (東・  
木元 1981; 楠井 2017; 楠井・宮城 2017; 佐々木  
ら 2002; 佐藤 2006; 重藤 2019a, b, 2020; Shigetoh  
2020; Shigetoh et al. 2019; 滝沢 2009).

備考 . 奥武島初記録 . 本種の寄主植物である  
シマグワ *Morus australis* (クワ科) から得られた .

### 2. オキナワイモサルハムシ

*Colasposoma viridicoeruleum* Motschulsky, 1860

(図 3)

検視標本 . 5 exs., 玉城奥武, 6. V. 2019, 筆者保管;  
2 exs., 同前, RUMF-ZI-47188–47189 .

国内の分布 . 屋久島, 口之島, 中之島, 諏訪  
之瀬島, 悪石島, 宝島, 奄美大島, 加計呂麻島,  
喜界島, 徳之島, 沖永良部島, 与論島, 沖縄島,  
浜比嘉島, 藪地島, 津堅島, 瀬長島, 奥武島 (南  
城市), 阿嘉島, 慶留間島, 渡名喜島, 久米島, 宮  
古島, 伊良部島, 多良間島, 石垣島, 新城島, 西  
表島, 与那国島 (東・木元 1981; 肥後 1981; 小林  
ら 1984; 小濱 2010; 楠井 2010, 2017; 楠井・宮城  
2017; 永田 1993; Satô et al. 1994; 重藤 2019a; 重  
藤・吉武 2019; 滝沢 2009; 山崎ら 2016; 吉道・滝  
沢 2007).

備考 . 奥武島初記録 . 本種の寄主植物である  
サツマイモ *Ipomoea batatas* およびノアサガオ *I.*  
*indica* (ヒルガオ科) から得られた .

ハムシ亜科 *Chrysomelinae* Latreille, 1802

### 3. ダイコンハムシ

*Phaedon brassicae* Baly, 1874

(図 4)

検視標本 . 3 exs., 玉城奥武, 6. I. 2019, RUMF-

ZI-47190–47192; 9 exs., 同地, 2. III. 2019, 筆者保  
管 .

国内の分布 . 北海道, 本州, 佐渡島, 隠岐, 四  
国, 九州, 対馬, 平戸島, 下甕島, 屋久島, 口永  
良部島, 中之島, 奄美大島, 与論島, 沖縄島, 瀬  
長島, 奥武島 (南城市) (林 2006; 今坂 2019; 楠  
井 2017; Shigetoh 2020; 滝沢 2007).

備考 . 奥武島初記録 . 本種の寄主植物である  
ダイコン *Raphanus sativus* var. *hortensis* (アブラ  
ナ科) から得られた . 3 月の調査以降は寄主植  
物が抜かれており, 他の地点でも確認できなかつ  
た .

### 4. ハマゴウハムシ

*Phola octodecimguttata* (Fabricius, 1775)

(図 5)

検視標本 . 4 exs., 玉城奥武, 奥武島海岸, 2. III.  
2019, 筆者保管; 1 ex., 同地, 6. V. 2019, RUMF-  
ZI-47193.

国内の分布 . 本州 (千葉県, 鳥取県, 島根県),  
四国 (高知県), 九州, 種子島, 屋久島, 中之島,  
宝島, 奄美大島, 与路島, 喜界島, 徳之島, 沖永  
良部島, 与論島, 沖縄島, 津堅島, 伊平屋島, 野  
甫島, 奥武島 (南城市), 渡名喜島, 久米島, 奥  
武島 (久米島町), 屋嘉比島, 多良間島, 石垣島,  
波照間島, 西表島, 与那国島 (東・木元 1981; 亀  
澤 2015; 松村ら 2018; 重藤 2019a, 2020; Shigetoh  
2020; Shigetoh et al. 2019; Suenaga et al. 2018; 高  
橋徹 2012; 高良・金城 1973; 滝沢 2007).

備考 . 奥武島初記録 . 本種の寄主植物である  
ハマゴウ *Vitex rotundifolia* (シソ科) から得られ  
た .

ヒゲナガハムシ亜科 *Galerucinae* Latreille, 1802

### 5. フタイロウリハムシ

*Aulacophora bicolor* (Weber, 1801)

(図 6)

検視標本 . 1 ex., 玉城奥武, 6. V. 2019, RUMF-  
ZI-47194.

国内の分布 . 宝島, 奄美大島, 喜界島, 徳之島,  
沖永良部島, 与論島, 沖縄島, 浜比嘉島, 藪地島,  
津堅島, 古宇利島, 瀬長島, 奥武島 (南城市), 粟  
国島, 渡名喜島, 久米島, 宮古島, 伊良部島, 石  
垣島, 黒島, 新城島, 波照間島, 西表島, 与那国  
島 (廣森 2000; 今坂・祝 2007; 楠井 1991, 2017;  
楠井・宮城 2017; Osada & Suenaga 2015; 佐々木  
ら 2002; 佐藤 2006; 重藤 2019a, b, 2020; Shigetoh  
2020; Suenaga et al. 2018; 高橋徹 2012; 滝沢 2011;  
山崎ら 2016).

備考 . 奥武島初記録 .

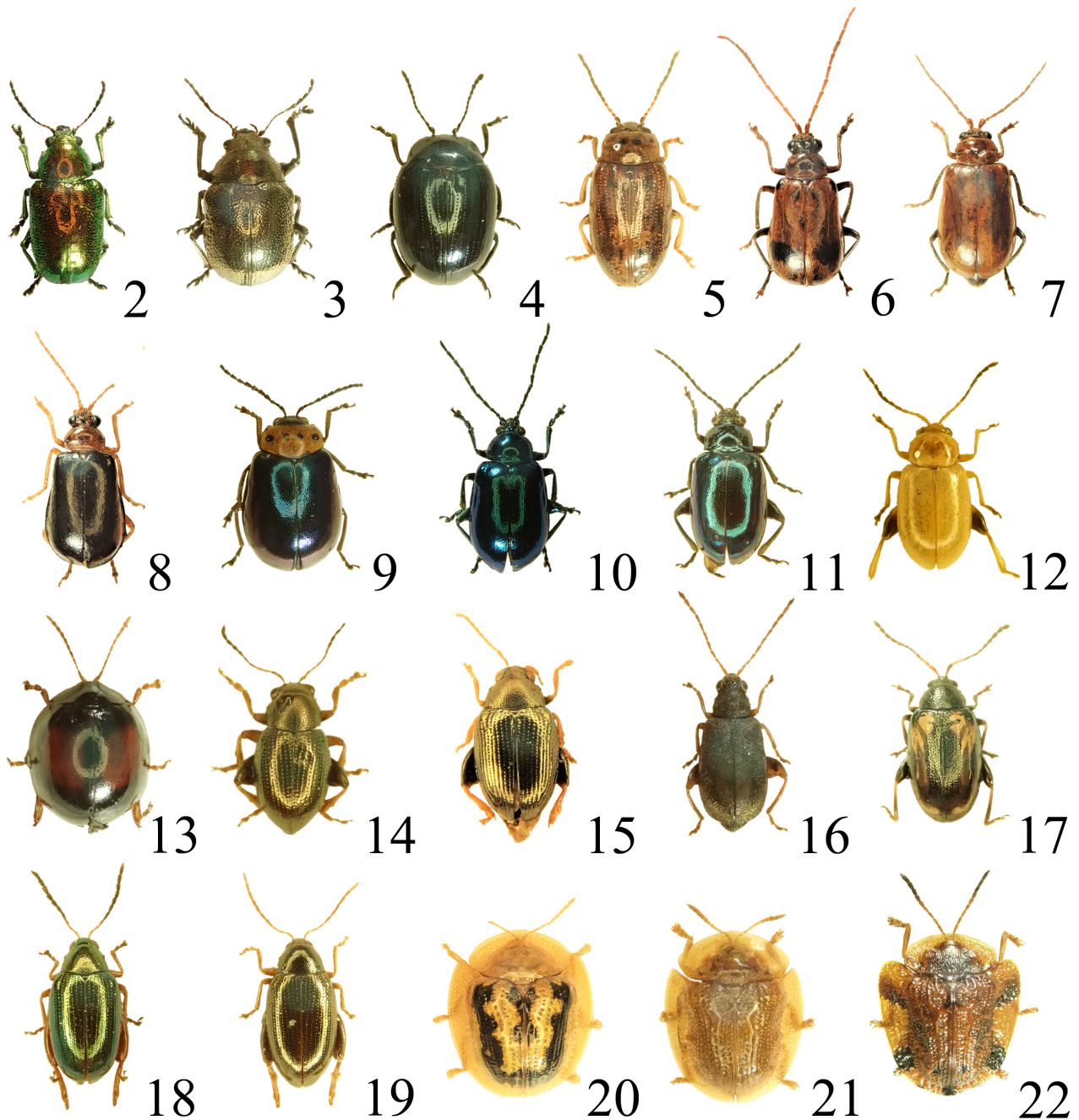


図2-22. 奥武島(南城市)のハムシ類—2) ツツサルハムシ, 3) オキナワイモサルハムシ, 4) ダイコンハムシ, 5) ハマゴウハムシ, 6) フタイロウリハムシ, 7) ウリハムシ, 8) ヒメクロウリハムシ, 9) オキナワイチモンジハムシ, 10) ビルマカミナリハムシ, 11) ヒメカミナリハムシ, 12) オキナワアシナガトビハムシ, 13) ヘリグロテントウノミハムシ, 14) ヒメドウガネトビハムシ, 15) サツマイモヒサゴトビハムシ, 16) シロヒゲトビハムシ, 17) キスジノミハムシ, 18) ベーリーナガスネトビハムシ, 19) ナスナガスネトビハムシ, 20) タテスジヒメジンガサハムシ, 21) ミカンカメノコハムシ, 22) ヨツモンカメノコハムシ.

Figs. 2-22. Leaf beetles of Ou-jima Island— 2) *Abirus fortunei*, 3) *Colasposoma viridicoeruleum*, 4) *Phaedon brassicae*, 5) *Phola octodecimguttata*, 6) *Aulacophora bicolor*, 7) *Aulacophora indica*, 8) *Aulacophora lewisii*, 9) *Morphosphaera caerulea*, 10) *Altica birmanensis*, 11) *Altica caerulescens*, 12) *Aphthona albescens*, 13) *Argopistes coccinelliformis*, 14) *Chaetocnema concinnicollis*, 15) *Chaetocnema confinis*, 16) *Hespera lomasa*, 17) *Phyllotreta striolata*, 18) *Psylliodes balyi*, 19) *Psylliodes viridana*, 20) *Cassida circumdata*, 21) *Cassida obtusata*, 22) *Lacoptera nepalensis*.

## 6. ウリハムシ

### *Aulacophora indica* (Gmelin, 1790)

(図7)

検視標本. 3 exs., 玉城奥武, 6. V. 2019, 筆者保管;  
2 exs., 同地, 28. IX. 2019, RUMF-ZI-47195-47196.

国内の分布. 本州, 飛島, 佐渡島, 粟島, 舩倉島, 三宅島, 八丈島, 隠岐, 四国, 淡路島, 沖ノ島, 九州, 壱岐, 対馬, 五島列島, 平戸島, 天草, 上甕島, 下甕島, 種子島, 屋久島, 口永良部島, 黒島, 口之島, 中之島, 諏訪之瀬島, 悪石島, 宝島, 奄美大島, 請島, 喜界島, 徳之島, 沖永良部島, 与論島, 沖繩島, 浜比嘉島, 藪地島, 津堅島, 伊平屋島, 野甫島, 伊是名島, 古宇利島, 瀬長島, 奥武島(南城市), 渡嘉敷島, 座間味島, 阿嘉島, 慶留間島, 粟国島, 渡名喜島, 久米島, 北大東島, 南大東島, 宮古島, 伊良部島, 多良間島, 石垣島, 竹富島, 小浜島, 新城島, 波照間島, 鳩間島, 西表島, 与那国島(東・木元 1975, 1981; 江平・小野田 1996; 肥後 1981; 廣森 1999; 今坂 2019; Kimoto 1980; 楠井 1991, 2017; 楠井・楠井 2006; 楠井・宮城 2017; 永田 1993; 中峯 2006; 佐々木ら 2002; Satô et al. 1994; 重藤 2019a, b, 2020; 高橋壽 2000; 滝沢 2011; 山崎ら 2016).

備考. 奥武島初記録. 本種の寄主植物であるニガウリ *Momordica charantia* var. *pavel* (ウリ科) から得られた.

## 7. ヒメクロウリハムシ

### *Aulacophora lewisii* Baly, 1886

(図8)

検視標本. 2 exs., 玉城奥武, 6. V. 2019, RUMF-ZI-47197-47198.

国内の分布. 屋久島, 黒島, 奄美大島, 徳之島, 沖永良部島, 与論島, 沖繩島, 宮城島, 浜比嘉島, 藪地島, 津堅島, 奥武島(南城市), 渡嘉敷島, 座間味島, 阿嘉島, 慶留間島, 渡名喜島, 宮古島, 石垣島, 波照間島, 西表島, 与那国島(東・木元 1975, 1981; 楠井・宮城 2017; 中峯ら 2007; 佐々木ら 2002; 重藤 2019a, b, 2020; Shigetoh 2020; Suenaga et al. 2018; 滝沢 2011).

備考. 奥武島初記録. 本種の寄主植物であるニガウリから得られた.

## 8. オキナワイチモンジハムシ

### *Morphosphaera caerulea* (Schönfeldt, 1890)

(図9)

検視標本. 2 exs., 玉城奥武, 6. V. 2019, 筆者保管.

国内の分布. 本州(千葉県), 屋久島, 奄美大島, 与路島, 請島, 喜界島, 沖永良部島, 与論島, 沖

繩島, 浜比嘉島, 藪地島, 津堅島, 伊平屋島, 野甫島, 伊是名島, 古宇利島, 奥武島(南城市), 阿嘉島, 渡名喜島, 久米島, 宮古島, 池間島, 伊良部島, 石垣島, 西表島(東・木元 1975, 1981; 楠井 1991; 楠井・楠井 2006; 楠井・宮城 2017; 宮内ら 2014; 大貝 2015; 重藤 2019a, b, 2020; 重藤・吉武 2018a, b; 高橋徹 2012; 滝沢 2011).

備考. 奥武島初記録. 本種の寄主植物であるガジュマル *Ficus microcarpa* (クワ科) から得られた. 島内にはガジュマルやオオバイヌビワ *F. septica* (クワ科) などの本種の寄主植物が多く生えており, また, 本種は沖繩諸島において良くみられる種であるにも関わらず, 今回の調査では採集した個体以外は確認できなかった.

## 9. ビルマカミナリハムシ

### *Altica birmanensis* (Jacoby, 1896)

(図10)

検視標本. 2 exs., 玉城奥武, 2. III. 2019, 筆者保管.

国内の分布. 中之島, 奄美大島, 与論島, 沖繩島, 奥武島(南城市), 与那国島(Shigetoh 2020; Suenaga 2020; 吉道・滝沢 2007; 吉武ら 2016).

備考. 奥武島初記録. 本種の寄主植物であるツルソバ *Persicaria chinensis* (タデ科) から得られた.

## 10. ヒメカミナリハムシ

### *Altica caerulea* (Baly, 1874)

(図11)

検視標本. 1 ex., 玉城奥武, 6. V. 2019, 筆者保管.

国内の分布. 本州, 佐渡島, 三宅島, 八丈島, 青ヶ島, 隠岐, 四国, 小豆島, 九州, 壱岐, 対馬, 五島列島, 甕島, 奄美大島, 沖永良部島, 与論島, 沖繩島, 奥武島(南城市), 宮古島, 多良間島, 石垣島, 西表島, 与那国島(藤本 2019; Suenaga 2020).

備考. 奥武島初記録.

## 11. オキナワアシナガトビハムシ

### *Aphthona albescens* Motschulsky, 1866

(図12)

検視標本. 3 exs., 玉城奥武, 28. IX. 2019, 筆者保管; 3 exs., 同前, RUMF-ZI-47199-47201.

国内の分布. 与論島, 沖繩島, 奥武島(南城市), 慶留間島, 渡名喜島, 宮古島, 石垣島, 西表島(東・木元 1981; 佐々木ら 2002; 重藤 2019a; Shigetoh 2020; 重藤・吉武 2020; 滝沢 2012).

備考. 奥武島初記録.

**12. ヘリグロテントウノミハムシ*****Argopistes coccinelliformis* Csiki, 1940**

(図 13)

検視標本. 4 exs., 玉城奥武, 6. V. 2019, 筆者保管;  
2 exs., 同地, 28. IX. 2019, RUMF-ZI-47202–47203.

国内の分布. 本州, 三宅島, 八丈島, 父島, 兄島, 南硫黄島, 四国, 沖ノ島, 隠岐, 栢島, 九州, 上甕島, 下甕島, 屋久島, 奄美大島, 沖永良部島, 沖繩島, 瀬長島, 奥武島 (南城市), 渡名喜島, 北大東島, 与那国島 (Gressitt 1955; 今坂 2019; 楠井 2017; 森ら 2018; 内藤・今坂 2019; Ohno & Hirano 1970; 佐々木ら 2002; 重藤 2019a; Suenaga & Shigetoh (in press); 滝沢 2012).

備考. 奥武島初記録. 畑の脇に生えているネズミモチ *Ligustrum japonicum* (モクセイ科) を加害していた.

**13. ヒメドウガネトビハムシ*****Chaetocnema concinnicollis* (Baly, 1874)**

(図 14)

検視標本. 1 ex., 玉城奥武, 6. I. 2019, 筆者保管.

国内の分布. 北海道, 利尻島, 本州, 粟島, 三宅島, 八丈島, 青ヶ島, 淡路島, 隠岐, 四国, 小豆島, 九州, 対馬, 下甕島, 中之島, 悪石島, 奄美大島, 徳之島, 沖繩, 津堅島, 奥武島 (南城市), 宮古島 (林 2006; 藤本 2019; 今坂 2019; Kimoto 1980; Kimoto & Gressitt 1966; 佐々木ら 2002; 重藤 2020; 高橋敏 2012; 高橋壽 2000; 滝沢 2012).

備考. 奥武島初記録.

**14. サツマイモヒサゴトビハムシ*****Chaetocnema confinis* Crotch, 1873**

(図 15)

検視標本. 66 exs., 玉城奥武, 6. I. 2019, 筆者保管;  
32 exs., 同地, 2. III. 2019, RUMF-ZI-47204–47235;  
4 exs., 同地, 6. V. 2019, 筆者保管; 20 exs., 同地,  
28. IX. 2019, 筆者保管; 8 exs., 同地, 16. XI. 2019,  
筆者保管.

国内の分布. 父島, 九州, 種子島, 喜界島, 請島, 与路島, 徳之島, 沖永良部島, 与論島, 沖繩島, 伊平屋島, 野甫島, 伊是名島, 伊江島, 古宇利島, 水納島 (本部町), 伊計島, 宮城島, 浜比嘉島, 藪地島, 津堅島, 奥武島 (南城市), 久高島, 座間味島, 粟国島, 渡名喜島, 久米島, 南大東島, 宮古島, 大神島, 来間島, 多良間島, 石垣島, 竹富島, 小浜島, 波照間島, 西表島, 与那国島 (今坂・石関 2012; 今坂・祝 2007; 小濱 2010; 小濱・安藤 2018; 楠井・宮城 2017; 宮崎県 2012; 重藤 2019b; Shigetoh 2020; 重藤・吉武 2018a, b;

Takizawa 1998; 滝沢 2012; 東京都 2012).

備考. 奥武島初記録. 本種の寄主植物であるサツマイモやノアサガオ, モミジヒルガオ *Ipomoea cairica* (ヒルガオ科) から得られた. 同じヒルガオ科を加害するタテスジヒメジンガサハムシやヨツモンカメノコハムシの個体数が冬季に減少する一方で, 本種の個体数は年中安定していた.

**15. シロヒゲトビハムシ*****Hespera lomasa* Maulik, 1926**

(図 16)

検視標本. 13 exs., 玉城奥武, 6. I. 2019, 筆者保管;  
22 exs., 同地, 2. III. 2019, 筆者保管; 24 exs., 同地,  
6. V. 2019, RUMF-ZI-47236–47259; 12 exs., 同地,  
28. IX. 2019, 筆者保管; 8 exs., 同地, 16. XI. 2019,  
筆者保管.

国内の分布. 中之島, 奄美大島, 与路島, 与論島, 沖繩島, 津堅島, 奥武島 (南城市), 宮古島, 石垣島, 与那国島 (東・木元 1975; Nakane & Kimoto 1961a; 重藤 2020; Shigetoh 2020; 重藤・吉武 2018b; Suenaga & Shigetoh (in press); 滝沢 2012).

備考. 奥武島初記録. 本種は東・金城 (1981) によってクワの害虫として記録されている. また, 滝沢 (2012) では, タイワンクズ *Pueraria montana* (マメ科) などの生える明るい草地に多いとされる. 奥武島では, 林縁の明るい草地に生えているノアサガオから得られた (図 23). ノアサガオの葉を摂食しており, 表面を削ったような食痕が残されていた (図 24). また, 同じヒルガオ科であるモミジヒルガオも島内に繁茂しており, わずかではあるがサツマイモも栽培されていたが, いずれの植物からも本種は得られず, 食痕も確認できなかった. いずれの季節においても安定して成虫が確認されたことから, 奥武島では周年発生しているものと思われる.

**16. キスジノミハムシ*****Phyllotreta striolata* (Fabricius, 1801)**

(図 17)

検視標本. 1 ex., 玉城奥武, 2. III. 2019, 筆者保管.

国内の分布. 北海道, 色丹島, 国後島, 択捉島, 礼文島, 利尻島, 本州, 佐渡島, 飛島, 三宅島, 八丈島, 隠岐, 四国, 小豆島, 沖ノ島, 九州, 対馬, 壱岐, 五島列島, 平戸島, 上甕島, 下甕島, 屋久島, 口之島, 中之島, 宝島, 奄美大島, 喜界島, 沖永良部島, 与論島, 沖繩島, 浜比嘉島, 藪地島, 津堅島, 奥武島 (南城市), 渡名喜島, 久米島, 北大東島, 南大東島, 宮古島, 石垣島, 西表



図 23. シロヒゲトビハムシが得られたノアサガオ。

Fig. 23. *Ipomoea indica* on which *Hespera lomasa* were collected.



図 24. ノアサガオを摂食するシロヒゲトビハムシ。

Fig. 24. *Hespera lomasa* feeding on *Ipomoea indica*.

島, 与那国島 (東 1989; 藤本 2019; 林 2006; 今坂 2019; Kimoto 1980; 小宮 1964; 楠井・宮城 2017; 大野 1962; 佐々木ら 2002; 重藤 2019a, b, 2020; Takizawa 2007; 滝沢 2013).

備考. 奥武島初記録. 本種の寄主植物であるアブラナ科植物から得られた.

#### 17. ベーリーナガスネトビハムシ

*Psylliodes balyi* Jacoby, 1884

(図 18)

検視標本. 2 exs., 玉城奥武, 2. III. 2019, 筆者保管.

国内の分布. トカラ列島, 奄美大島, 沖永良部島, 与論島, 沖繩島, 藪地島, 津堅島, 奥武島 (南城市), 久米島, 南大東島, 宮古島, 石垣島, 西表島, 与那国島, 魚釣島 (東 1989; 佐々木ら 2002; 佐藤 2006; 重藤 2019b, 2020; Shigetoh 2020; Takizawa 2005).

備考. 奥武島初記録.

#### 18. ナスナガスネトビハムシ

*Psylliodes viridana* Motschulsky, 1858

(図 19)

検視標本. 10 exs., 玉城奥武, 6. V. 2019, 筆者保管; 18 exs., 同前, RUMF-ZI-47260-47277.

国内の分布. 北海道, 国後島, 礼文島, 利尻島, 本州, 佐渡島, 舩倉島, 三宅島, 八丈島, 小笠原諸島, 隠岐, 四国, 九州, 壱岐, 対馬, 上甕島, 下甕島, 屋久島, 中之島, 奄美大島, 喜界島,

与論島, 沖繩島, 浜比嘉島, 藪地島, 津堅島, 奥武島 (南城市), 北大東島, 南大東島, 宮古島, 石垣島, 西表島, 与那国島 (林 2006; 今坂 2019; 小宮 1964; 楠井・宮城 2017; 重藤 2019b, 2020; Shigetoh 2020; 重藤・吉武 2020; Takizawa 2005; 滝沢 2013).

備考. 奥武島初記録.

#### カメノコハムシ亜科 Cassidinae Gyllenhal, 1813

#### 19. タテスジヒメジンガサハムシ

*Cassida circumdata* Herbst, 1799

(図 20)

検視標本. 3 exs., 玉城奥武, 6. I. 2019, 筆者保管; 2 exs., 同地, 2. III. 2019, RUMF-ZI-47278-47279.

国内の分布. 本州 (大阪府, 奈良県, 岡山県), 八丈島, 硫黄島, 中硫黄島, 九州 (宮崎県), 種子島, 屋久島, 宝島, 奄美大島, 喜界島, 徳之島, 沖永良部島, 与論島, 沖繩島, 浜比嘉島, 藪地島, 津堅島, 伊平屋島, 瀬長島, 奥武島 (南城市), 渡名喜島, 久米島, 南大東島, 宮古島, 石垣島, 波照間島, 西表島, 与那国島, 尖閣諸島 (東・木元 1981; 今坂・祝 2007; 川畑 2010; 小濱 2010; 楠井 2017; 楠井・宮城 2017; 長嶺 2007; Nakane & Kimoto 1961a, b; 中武 2009; 奈良県 2020; 大貝 2015; 大阪府 2012; 重藤 2019a, b; 末長 2016; 高橋 2012; Takizawa 1982; 滝沢 2014; 東京都 2004).

備考. 奥武島初記録. 本種の寄主植物であるサツマイモやノアサガオ, モミジヒルガオから得られた.

**20. ミカンカメノコハムシ*****Cassida obtusata* Boheman, 1854**

(図 21)

検視標本 . 2 exs., 玉城奥武, 28. IX. 2019, 筆者保管 .

**国内の分布** . 小笠原諸島, 沖永良部島, 与論島, 沖繩島, 藪地島, 津堅島, 伊江島, 奥武島 (南城市), 南大東島, 宮古島, 石垣島, 黒島, 西表島 (平野ら 2012; 小浜 2017, 2018; 小浜・砂川 2017; 松比良 2009; 大貝 2016; 重藤 2019b, 2020; Shigetoh 2020; Shigetoh & Souma 2019; 滝沢 2014; 吉道・滝沢 2007).

**備考** . 奥武島初記録 .

**21. ヨツモンカメノコハムシ*****Lacoptera nepalensis* Boheman, 1855**

(図 22)

検視標本 . 2 exs., 玉城奥武, 2. III. 2019, 筆者保管 ; 1 ex., 同地, 20. IX. 2019, 筆者保管 .

**国内の分布** . 本州 (東京都, 神奈川県, 静岡県, 愛知県, 岐阜県, 三重県, 和歌山県, 大阪府, 山口県), 伊豆大島, 三宅島, 八丈島, 向島 (山口県), 蓋井島 (山口県), 四国 (愛媛県, 徳島県, 高知県), 九州, 志賀島 (福岡県), 向島 (佐賀県), 青島 (長崎県), 大入島 (大分県), 上甕島, 下甕島, 種子島, 屋久島, 奄美大島, 喜界島, 徳之島, 沖永良部島, 与論島, 沖繩島, 伊平屋島, 古宇利島, 屋我地島, 瀬底島, 水納島 (本部町), 伊江島, 伊計島, 宮城島, 平安座島, 浜比嘉島, 藪地島, 津堅島, 瀬長島, 奥武島 (南城市), 粟国島, 渡名喜島, 久米島, 宮古島, 池間島, 伊良部島, 下地島, 来間島, 石垣島, 小浜島, 黒島, 新城島, 波照間島, 竹富島, 西表島, 与那国島, 魚釣島 (今坂ら 2020; 大原・山田 2020; 重藤ら 2020; 高井・酒向 2019).

**備考** . 重藤ら (2020) によって記録されている .

**おわりに**

本報告により奥武島におけるハムシ類は 4 亜科 21 種となった . 同島は面積が極めて小さく, 島の大半が開発され, 従来の自然がほとんど残されていないにも関わらず比較的多くのハムシ類が得られた . その理由として, 沖繩島との距離が極めて近く, 開発後もハムシ類が侵入しやすいことや家庭菜園または庭木としてハムシ類の食草となり得る植物が人為的に植えられていることなどが考えられる .

今回の調査で得られたすべての種が沖繩島からも記録されている普通種であり, また, そ

のほとんどが畑作物および草地雑草を利用する種である . これは畑や草地にニガウリやサツマイモ, ノアサガオ, イネ科雑草, イヌホオズキ類などハムシ類の食草となる植物が比較的豊富であることから推察される . 一方で面積が極めて小さく標高も低い奥武島は地形の変化に乏しく, 主にガジュマルやシマグワ, ギンネムなどで構成される二次林は植生が単調であり, 食草の種多様性が低いことが, 木本植物を利用する種が少ないことが要因であると考えられる .

これまでの調査において, クビナガハムシ亜科やツツハムシ亜科, ツヤハムシ亜科などは亜科単位で確認できなかった . 特にその食草は多く生息しているにも関わらず, オキナワクビナガハムシやヒロヒゲツツハムシなどの沖繩島南部で普通にみられる種が確認されていない . 今後継続した調査を行うことで発見される可能性がある .

**謝辞**

本報告をまとめるにあたり, 原稿を校閲し, 有益なご助言をくださった東京都の南雅之氏に厚くお礼申し上げます .

**引用文献**

- 東清二, 1989. 南大東島の昆虫相に関する若干の考察 . 沖繩農業, 24: 27–39.
- 東清二・木元新作, 1975. 宮古島のハムシ相 . 琉球大学農学部学術報告, (22): 125–129.
- 東清二・木元新作, 1981. 沖繩の離島のハムシ類目録 (資料) . 琉球大学農学部学術報告, (28): 49–55.
- 東清二・金城政勝, 1981. 沖繩県におけるクワ害虫と桑園の昆虫群集 . 沖繩農業, 17: 7–15.
- 江平憲治・小野田繁, 1996. 鹿児島県・黒島の昆虫類 . 鹿児島県立博物館研究報告, (15): 39–48.
- 藤本博文, 2019. 小豆島で採集した甲虫 (3). へりぐろ, (40): 21–33.
- Gressitt, J.L., 1955. Coleoptera: Chrysomelidae. Insects of Micronesia, 17: 1–60.
- 林成多, 2006. 島根県産ハムシ科目録 . ホシザキグリーン財団研究報告, (9): 67–111.
- 肥後昌幸, 1981. トカラ列島諏訪之瀬島の昆虫 (1980年) . Satsuma, (86): 200–201.
- 平野幸彦・森本桂・梅谷献二・東清二・森本信生, 2012. コウチュウ目 . Pp. 172–208. 梅谷献二 (編), 外来昆虫と移入天敵 . 全国農村教育協会, 東京 .
- 廣森敏明, 1999. 1998年10月 口之島の昆虫類 .



- 鹿児島県立博物館研究報告, (18): 5–10.
- 廣森敏明, 2000. 1999年11月トカラ列島 – 宝島 – の昆虫相. *Satsuma*, 50 (121): 50–61.
- 今坂正一, 2019. 甌島列島の甲虫類 – 1982年の下甌島採集品と既知記録からみた甲虫相 –. *Satsuma*, (162): 1–109.
- 今坂正一・石関博, 2012. サツマイモヒサゴトビハムシのエンサイへの加害および国内における分布と単為生殖個体群の存在について. *さやばねニューシリーズ*, (5): 18–21.
- 今坂正一・祝輝男, 2007. 喜界島で2007年に採集した甲虫. *Satsuma*, (138): 119–129.
- 今坂正一・國分謙一・伊藤玲央・有馬浩一, 2020. 甌島採集紀行2019夏. *Korasana*, (93): 43–108.
- 亀澤洋, 2015. 千葉県の房総半島南部で発生しているハマゴウハムシ. *月刊むし*, (533): 52–54.
- 川畑喜照, 2010. 伊豆諸島八丈島の甲虫 VII. *神奈川虫報*, (172): 29–39.
- Kimoto, S., 1980. Catalogs of the Chrysomelidae of Tokara Is., Kikaigashima and Okierabujima in the Ryukyu Archipelago. *Kurume University Journal*, 29: 153–159.
- Kimoto, S. & J.L. Gressitt, 1966. The Chrysomelidae of the Ryukyu Archipelago. *Pacific Insects*, 8: 467–577.
- 木元新作・滝沢春雄, 1994. 日本産ハムシ類幼虫・成虫分類図説. 東海大学出版, 東京.
- 小林真澄・守山泰司・高井泰, 1984. 1980年度夏季徳之島合宿採集報告. *Leben*, (19): 35–69.
- 小濱継雄, 2010. 沖縄県におけるサツマイモの食葉性害虫. 沖縄県農業研究センター研究報告, (4): 27–31.
- 小濱継雄, 2017. 沖縄島におけるミカンカメノコハムシの最近の記録. *さやばねニューシリーズ*, (26): 55.
- 小濱継雄, 2018. 沖縄諸島津堅島でミカンカメノコハムシの生息を確認. *Pulex*, (97): 743–744.
- 小濱継雄・安藤緑樹, 2018. 沖縄県におけるサツマイモヒサゴトビハムシの分布状況とその寄主植物. 沖縄県農業研究センター研究報告, (12): 43–47.
- 小濱継雄・砂川博秋, 2017. 宮古島のミカンカメノコハムシの記録. *Pulex*, (96): 720–721.
- 小宮義璋, 1964. 礼文島のハムシ類. *昆虫学評論*, 16: 64–66.
- 楠井善久, 1991. 古宇利島における10月の昆虫. *琉球の昆虫*, (14): 16–21.
- 楠井善久, 2010. 敷地島(うるま市)のソテツ葉上で採集した甲虫. *琉球の昆虫*, (34): 33–34.
- 楠井善久, 2017. 瀬長島(沖縄県豊見城市)の甲虫目録(1987年から2007年まで). *琉球の昆虫*, (41): 25–32.
- 楠井善久・楠井陽子, 2006. 野甫島(伊平屋諸島)のハムシとゾウムシの小記録. *琉球の昆虫*, (28): 50–51.
- 楠井善久・宮城秋乃, 2017. 浜比嘉島(うるま市)の甲虫目録. *琉球の昆虫*, (41): 39–49.
- Löbl, I. & A. Smetana, 2010. *Catalogue of Palaearctic Coleoptera*, 6. Chrysomeloidea. Apollo Books, Stenstrup.
- 松比良邦彦, 2009. ミカンカメノコハムシは沖永良部島にも居る. *Satsuma*, (142): 242.
- 松村雅史・野林千枝・長田勝・小浜継雄・山崎仁也, 2018. 2017年・伊是名島, 平屋島の鞘翅目記録. *琉球の昆虫*, (42): 8–15.
- Medvedev, L. N., 2006. To the knowledge of Chrysomelidae (Coleoptera) described by V. Motschulsky. *Russian Entomological Journal*, 15: 409–417.
- 宮内博至・金子美織・斉藤明子, 2014. 千葉県南部におけるオキナワイチモンジハムシの記録. *月刊むし*, (520): 40–43.
- 宮崎県, 2012. 平成23年度病害虫発生予察特殊報2号. 宮崎. URL: <http://www.jppn.ne.jp/miyazaki/10/tokusyuu/23nen/h23tokusyuu02.pdf>
- 森英章・荻部治紀・岸本太郎, 2018. 南硫黄島の昆虫相とその特殊性. *小笠原研究*, (44): 251–288.
- Nadein, K. & C.-F. Lee, 2012. New data about some Alticini from Taiwan with descriptions of two new species (Coleoptera, Chrysomelidae). *Bonn Zoological Bulletin*, 61: 41–48.
- 長嶺邦雄, 2007. 南大東島の昆虫. *琉球の昆虫*, (31): 65–66.
- 永田武志, 1993. 1992年梅雨時の与論島の甲虫. *Leben*, 23: 45–47.
- 内藤準哉・今坂正一, 2019. 北大東島におけるヘリグロテントウノミハムシの記録. *さやばねニューシリーズ*, (33): 56–57.
- 中峯浩司, 2006. 奄美群島請島2004年9月の昆虫類. 鹿児島県立博物館研究報告, (25): 63–67.
- 中峯浩司・江平憲治・今村久雄, 2007. 鹿児島県三島村黒島における2006年7月の昆虫類. 鹿児島県立博物館研究報告, (26): 89–101.
- Nakane, T. & S. Kimoto 1961a. Entomological results from the scientific survey of the Tokara Islands, Coleoptera: Chrysomelidae. *Bulletin of the Osaka Museum of Natural History*, (13): 71–79.
- Nakane, T. & S. Kimoto 1961b. A list of chrysomelid-beetles collected by Dr. T. Shiraki from the Loo-choo islands, with descriptions of

- new species. *Kontyû*, 29: 106–110.
- 中武文広 2009. タテスジヒメジンガサハムシが宮崎県に分布. *タテハモドキ*, (45): 12.
- 奈良県, 2020. 令和2年度病害虫発生予察特殊報第1号. 2 pp. 奈良. URL: [http://www.jppn.ne.jp/nara/20200709\\_%E7%89%B9%E6%AE%8A%E5%A0%B1\\_%E5%A5%88%E8%89%AF%E7%9C%8C\\_1%E5%8F%B7\\_%E3%82%BF%E3%83%86%E3%82%B9%E3%82%B8%E3%83%92%E3%83%A1%E3%82%B8%E3%83%B3%E3%82%AC%E3%82%B5%E3%83%8F%E3%83%A0%E3%82%B7HP.pdf](http://www.jppn.ne.jp/nara/20200709_%E7%89%B9%E6%AE%8A%E5%A0%B1_%E5%A5%88%E8%89%AF%E7%9C%8C_1%E5%8F%B7_%E3%82%BF%E3%83%86%E3%82%B9%E3%82%B8%E3%83%92%E3%83%A1%E3%82%B8%E3%83%B3%E3%82%AC%E3%82%B5%E3%83%8F%E3%83%A0%E3%82%B7HP.pdf)
- 大貝秀雄, 2015. 与論島新記録のコクロカメムシおよびその他の昆虫. *月刊むし*, (534): 52.
- 大貝秀雄, 2016. 南大東島で採集されたミカンカメノコハムシ, チュウジョウテントウおよびその他の昆虫. *月刊むし*, (550): 29–30.
- 大原賢二・山田量崇, 2020. 徳島県で確認されたヨツモンカメノコハムシ. *徳島県立博物館研究報告*, (30): 101–103.
- 大野正男, 1962. 飛島のハムシ相. *昆虫学評論*, 15: 21–23.
- Ohno, M. & Y. Hirano, 1970. The chrysomelid-beetles from the Island Yakushima, Japan (Coleoptera). *Mushi*, 44 (5): 31–42.
- 大阪府, 2012. 平成24年度病害虫発生予察特殊報第1号. URL: <http://www.jppn.ne.jp/osaka/H24nd/tokushu/no1.html>
- Osada, Y. & H. Suenaga, 2015. A new record of *Aulacophora bicolor* (Weber, 1801) (Coleoptera, Chrysomelidae, Galerucinae) from Haterumajima Is. of the Ryukyus, Japan. *Elytra*, (n. ser.), 5: 483–484.
- 佐々木健志・木村正明・河村太, 2002. コウチュウ目. Pp. 157–284. 東清二(監修), 屋富祖昌子・林正美・小濱継雄・佐々木健志・木村正明・河村太(編), 琉球列島産昆虫目録(増補改訂版). 沖縄生物学会, 西原.
- 佐藤文保, 2006. 久米島の昆虫リスト. 久米島自然文化センター, (6): 57–89.
- Satô, M., M. Sasaki, Y. Notsu, S. Kaneko & M. Kimura, 1994. Records of Coleoptera from the Tokara Islands collected in 1992 and 1993. Pp. 276–280. In: Satô, M., S. Morita, N. Ohbayashi, M. Kimura, M. Sakai, Y. Notsu, S. Kaneko & Y. Hori (eds.), *The Insects Fauna of the Tokara Islands of the Ryukyu Archipelago*. WWF Japan Science Report, Tokyo, 2: 251–309.
- 重藤裕彬, 2019a. 沖縄諸島渡名喜島未記録のハムシ類. *さやばねニューシリーズ*, (33): 20–24.
- 重藤裕彬, 2019b. 藪地島(沖縄諸島)未記録のハムシ類. *月刊むし*, (583): 41–45.
- 重藤裕彬, 2020. 沖縄諸島津堅島におけるハムシ類の採集記録. *月刊むし*, (587): 42–45.
- Shigetoh, H. 2020. The leaf beetle fauna (Coleoptera, Chrysomelidae) of Yoron-jima Is., the Amami Isls., central Ryukyus, southwestern Japan. *Elytra*, (n. ser.), 10: 147–164.
- Shigetoh, H. & J. Souma 2019. New distributional records of *Cassida obtusata* Boheman, 1854 (Coleoptera, Chrysomelidae, Cassidinae) from Kuroshima Is. and Iriomote-jima Is., the Yaeyama Isls., southwestern Japan. *Elytra*, (n. ser.), 9: 149–150.
- 重藤裕彬・末長晴輝・南雅之・渡部晃平, 2020. ヨツモンカメノコハムシの分布記録および日本国内, 特に琉球列島における分布の現状. *ホシザキグリーン財団研究報告*, (23): 227–243.
- 重藤裕彬・吉武啓, 2018a. 奄美群島請島において冬季に採集されたハムシ類. *さやばねニューシリーズ*, (29): 17–19.
- 重藤裕彬・吉武啓, 2018b. 奄美群島与路島において冬季に採集されたハムシ類. *月刊むし*, (568): 34–37.
- 重藤裕彬・吉武啓, 2019. 奄美群島加計呂麻島初記録のハムシ類. *さやばねニューシリーズ*, (34): 19–22.
- 重藤裕彬・吉武啓, 2020. 大東諸島南大東島で採集されたハムシ類. *さやばねニューシリーズ*, (38): 43–49.
- Shigetoh, H., H. Yoshitake & Y. Tamadera, 2019. Leaf beetles (Coleoptera, Chrysomelidae) new for Ou-shima Is., near Kume-jima Is. in the Okinawa Isls., central Ryukyus, southwestern Japan. *Elytra*, (n. ser.), 9: 145–148.
- 末長晴輝, 2016. 岡山県におけるハムシ類の分布記録(3). *すずむし*, (151): 13–14.
- Suenaga, H., 2020. A revision of the genus *Altica* (Coleoptera: Chrysomelidae: Galerucinae) of Japan. *Japanese Journal of Systematic Entomology, Supplementary Series*, (2): 163–258.
- Suenaga, H., & H. Shigetoh (in press). New distribution records of four leaf beetles (Coleoptera, Chrysomelidae) from Yonaguni-jima Is., the Ryukyu Isls., Japan. *Elytra*, (n. ser.).
- Suenaga, H., H. Shigetoh & H. Yoshitake, 2018. Distributional records of leaf beetles (Coleoptera, Chrysomelidae) from Tokunoshima Is., the Amami Isls., Central Ryukyus, southwestern Japan (I). *Elytra*, (n. ser.), 8: 103–113.
- 高橋敏, 2012. ハムシ科(マメゾウムシ亜科・ネクイハムシ亜科を除く). Pp. 239–372. 初宿成

- 彦 (編), 大阪自然史博物館所蔵甲虫類目録 (2). 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第 44 集, 大阪.
- 高橋 壽郎, 2000. 淡路島産甲虫目録 (3). *Parnassius*, (49): 1–16.
- 高井泰・酒向正美, 2019. IV. 外来種 (7) 昆虫類. Pp. 303–315. 守りたい加茂の豊かな自然 編集委員会 (編), 守りたい加茂の豊かな自然. 美濃加茂市・坂祝市・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村, 美濃加茂.
- 高良鉄夫・東清二, 1974. 久米島の昆虫相. Pp. 82–88. 沖縄自然研究会 (編), 沖縄自然史研究会調査報告第 1 号. 久米島県立自然公園候補地学術調査報告. 那覇.
- Takizawa, H., 1982. Notes on Japanese Chrysomelidae (Coleoptera). *The Entomological Review of Japan*, 37: 55–60.
- Takizawa, H., 1998. Notes on Japanese Chrysomelidae (Coleoptera). Part 3. *Elytra*, 26: 217–222.
- Takizawa, H., 2005. A revision of the genus *Psylliodes* Latreille in Japan (Chrysomelidae: Alticinae). *Insecta Matsumurana*, (n. ser.), 62: 175–185.
- 滝沢春雄, 2007. 日本産ハムシ科生態覚書 (2). 神奈川虫報, (157): 17–26.
- Takizawa, H., 2007. A revision of the genus *Phyllotreta* Chevrolat in Japan. *The Entomological Review of Japan*, 62: 113–120.
- 滝沢春雄, 2009. 日本産ハムシ科生態覚書 (4). 神奈川虫報, (168): 1–11.
- 滝沢春雄, 2011. 日本産ハムシ科生態覚書 (5). 神奈川虫報, (173): 35–51.
- 滝沢春雄, 2012. 日本産ハムシ科生態覚書 (6). 神奈川虫報, (177): 33–51.
- 滝沢春雄, 2013. 日本産ハムシ科生態覚書 (7). 神奈川虫報, (179): 17–33.
- 滝沢春雄, 2014. 日本産ハムシ科生態覚書 (8). 神奈川虫報, (182): 37–46.
- 東京都, 2004. 平成 16 年度病害虫発生予察特殊報第 1 号. 3 pp. 東京. URL: [https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/pdf/yosatu/toku/TOK\\_040708\\_TATESUJI.pdf](https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/pdf/yosatu/toku/TOK_040708_TATESUJI.pdf)
- 東京都, 2012. 平成 24 年度病害虫発生予察特殊報第 2 号. 2 pp. 東京. URL: [https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/pdf/yosatu/toku/TOK\\_121023\\_satsumaimohisago.pdf](https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/pdf/yosatu/toku/TOK_121023_satsumaimohisago.pdf)
- 山崎仁也・松村雅史・吉田和久・力身恭二・目黒賢児, 2016. 鳩間島・新城 (上地) 島・黒島の動物相 (FAUNA) ～昆虫相を中心に～. Pp. 69–79. 沖縄県立博物館・美術館 (編), 鳩間島・新城島・黒島総合調査報告書. 沖縄県立博物館・美術館, 那覇.
- 吉道俊一・滝沢春雄, 2007. 琉球地方からのハムシ類の新産地. *甲虫ニュース*, (158): 5–6.
- 吉武啓・細谷忠嗣・榎原寛・滝沢春雄, 2016. “フェリーとしま”の船上で採集された植食性甲虫 9 種の記録. さやばねニューシリーズ, (24): 48–52.

**Distributional records of leaf beetles (Coleoptera, Chrysomelidae) from Ou-jima Island in Nanjo City, Okinawa Islands, central Ryukyus, southwestern Japan**

**Hiroaki Shigetoh**

Naha Plant Protection Station, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries of Japan, 2–11–1 Minatomachi, Naha, Okinawa 900–0001, Japan (mofosr.45.9@gmail.com)

**Abstract.** A total of 21 chrysomelid beetles are recorded from Ou-jima Island in the Okinawa Islands, central Ryukyus, southwestern Japan. These species except for *Laccolpoda nepalensis*, are new to the fauna of the island: 1) *Abirus fortunei*, 2) *Colasposoma viridicoeruleum*, 3) *Phaedon brassicae*, 4) *Phola octodecimguttata*, 5) *Aulacophora bicolor*, 6) *Aulacophora indica*, 7) *Aulacophora lewisii*, 8) *Morphosphaera caerulea*, 9) *Altica birmanensis*, 10) *Altica caerulea*, 11) *Aphthona albescens*, 12) *Argopistes coccinelliformis*, 13) *Chaetocnema concinnicollis*, 14) *Chaetocnema confinis*, 15) *Hespera lomasa*, 16) *Phyllotreta striolata*, 17) *Psylliodes balyi*, 18) *Psylliodes viridana*, 19) *Cassida circumdata*, and 20) *Cassida obtusata*. In addition, *Ipomoea indica* is newly recorded as a feed plant of *H. lomasa*.

投稿日: 2020 年 9 月 16 日  
 受理日: 2020 年 11 月 16 日  
 発行日: 2020 年 12 月 4 日